

国際協力講演会 & 青年海外協力隊員報告会

◆Profile 出演者プロフィール・メッセージ

第一部 国際協力講演会



矢野 デイビット 氏

日本人の父とガーナ人の母との間にガーナで生まれる。

6歳の時、ガーナで集団強盗に一家が襲われたことをきっかけに日本へ移住。8歳～18歳まで児童養護施設で育つ。

学生時代からモデルやCMの仕事を始め、「ユニクロ」、「リカルデント」、「エネループ」、「インテル」などの仕事を経て、「すぽると!」、「世界ふしぎ発見」、「FOOT×BRAIN」、「5時に夢中!」などテレビ番組に出演。その傍ら、好きだったピアノを通して音楽活動を行う。

現在ではソロ活動のほか、元Jリーガーで作詞作曲家の兄と、薬剤師の弟とのヴォーカルユニットYANO BROTHERSとしてもライブ活動を展開。

NHK Eテレ「ハートネットTV」、日テレ「チカラウタ」「news ZERO」などにも出演。

25歳の時、ガーナでのとあるストリートチルドレンとの出会いをきっかけに「誰にも守ってもらえない子供たちを守りたい」という想いを抱く。自立支援団体Enijeを設立。2012年に一般社団法人化し、教育を柱にガーナで学校建設や教育する側の教育、運動会やサッカー大会を行いながら支援を続けている。

支援とは自尊心を育てることという信念のもと、現地のコミュニティと自立に向けた活動を行う。

また国内では楽しんだ代価をチャリティーにする味の素スタジアムでのチャリティーフットサルイベント等を主催。

社会問題をテーマにしたトークイベント「箱舟に積むモノ」を立ち上げ、当事者をスピーカーに世界の料理や音楽を楽しみながら社会問題をシェアする活動も行っている。2013年出演したドキュメンタリー映画「ハーフ」をきっかけに、アイデンティティー、マイノリティー、人種差別、国際交流、異文化共存などをテーマにした講演を多数。

第二部 青年海外協力隊員報告会



西 星良 氏

(派遣国:タンザニア/数学教育)

鹿児島大学教育学部を卒業後、タンザニアにて青年海外協力隊として活動しました。現地の公立学校に所属し、一教員として数学を教えました。わたしの体験したタンザニアや実際の活動についてお話しできればと思います。

松山 遼 氏

(派遣国:ブルキナファソ/小学校教諭)

京都教育大学卒業後、西アフリカのブルキナファソにて算数や理科教育における指導法改善の支援のため青年海外協力隊として活動しました。ブルキナファソとは、現地語で「高潔な人々の国」という意味です。なんとカッコいい国名!そんなブルキナファソで体験したことや、学校教育のあれこれをお伝えできればと思います。



●主催・申込み・お問合せ先● 公益財団法人鹿児島市国際交流財団

〒892-0816 鹿児島市山下町 15-1 かごしま市民福祉プラザ 3階

TEL: 099-226-5931 FAX: 099-239-9258 Mail: kokusai@kiex.jp HP: <http://www.kiex.jp/>